

教養文化研究所所員 2008年度業績一覧

青山 征彦

【研究ノート】

「人間と物質のエージェンシーをどう理解するか:エージェンシーをめぐって(2)」
(2009年1月,『駿河台大学論叢』,37号, pp.125-137.)

「リテラシーの獲得と運用:認知的基盤の理解に向けて」(『読書科学』,51巻4号,
pp.45-47.)

【口頭発表】

「『自己教育力』が不可視にするもの:状況的学習論の立場から」(2008年10月,
日本教育心理学会第50回大会 準備委員会企画シンポジウム「自己学習再考—その
基底への省察—」,於 東京学芸大学)

「非一人間のエージェンシーをいかに考えるか:主体を考えるための準備運動」
(2008年11月,日本質的心理学会第5回大会 会員企画シンポジウム「主体性のデ
ザイン」,於 筑波大学)

【その他】

「巻頭言 黒子よりひとこと」(2008年12月,『認知科学』15巻4号, p.1)

【現在の研究テーマ】

コミュニティの中での学びや熟達,メディアの使用について

明石 真和

【社会活動】

平成20年度文化庁支援事業「文化・芸術による創造のまち～大学と地域との交流・
連携の促進～」 駿河台大学 ドイツ語発音みがきあげ講座講師 (2008年6月)

【その他】

中条一雄(元朝日新聞記者)著「デットマール・クラマー」(2008年8月ベースボ
ール・マガジン社刊)のドイツ取材コーディネート・通訳および編集協力

埼玉サッカー100周年記念事業(さいたま市他共催)「埼玉サッカーカンフェレン
ス」(2008年10月)における講演者デットマール・クラマー氏テキスト翻訳

【現在の研究テーマ】

ドイツ語学, ドイツ語圏の文学・文化

秋池 宏美

【現在の研究テーマ】

- ① 教育に関する政治言説の分析
- ② 子どもの人権論の教育法史的検討

秋山 洋子

【翻訳】

李 小江「民衆化された戦争研究が示唆するもの」(2009年1月,『中国女性史研究』第16号, pp. 38-45)

【書評・映画評】

『異なっている社会を——女性学／ジェンダー研究の視座』(金井淑子著, 明石書店, 2008年)(2008年5月16日,『週刊読書人』)

『異なっている社会を——女性学／ジェンダー研究の視座』(金井淑子著, 明石書店, 2008年)(2008年春,『季刊 ピープルズ・プラン』42号, pp. 146-148)

『若き高杉一郎——改造社の時代』(太田哲男著, 未来社, 2008年), (2008年12月,『世界文学』第108号, pp. 85-87)

「映画『纏足』をめぐって」(2009年1月,『中国女性史研究』第18号)

「格差の広がる中国社会を生きる女性たちのいま」:『長江に生きる——^{ビンアイ}兼愛の物語』(フォン・イエ^{エレジー}ン監督)『女工哀歌』(ミカ・X・ベレド監督), (2009年2月,『インパクション』167号, pp. 147-150)

「^{ビンアイ}兼愛の物語・女たちの物語」(2009年3月, 映画『長江に生きる』プログラム pp. 6-7)

【講演・シンポジウム】

講演「この30年, 日本女性の社会参画は? 1970年代からの女性運動の流れ」(2008年9月21日, 於板橋区立男女平等推進センター)

シンポジウム「子殺しと子育てのあいだで——70年代リブ, 優生保護法, そして^{いま}現在」(^{わたし}SOSHIREN女のからだから連続講座第6回, 第1部パネラー, 第2部司会), (2008年9月23日, 於文京区民センター)

日本大学総合生涯学習センター連続講座「中国女性の20世紀史⑤ 女性学の展開

——李小江の仕事にみる新たな中国女性像」(2008年10月27日, 於同センター)

【現在の研究テーマ】

中国の女性文学・女性史, 中国における女性学・ジェンダー論

天野 宏司

【著書】

平岡昭利編『地図で読み解く日本の地域変貌』(分担執筆)(2008年月11刊, 海青社)。担当部分は「川崎」 pp. 96-99.

【学術論文】

天野宏司「「郵便線路図」による公権力の国土空間の把握について」(2009年3月, 平成17年度～平成19年度科学研究費補助金 基盤研究(B)「公権力の空間認識に係る近代歴史地理学的研究」(研究課題番号 17320130) 研究成果報告書, CD-ROM版)

【研究ノート】

天野宏司「引き込み線のある風景」(2009年3月, 『地図中心』438, pp. 16-19.

【書評】

黄 武達編著:『日治時期台湾都市発展地図集』(2008年6月), 『歴史地理学』50(3), pp. 32-34.)

片倉佳史著・劉添根訳:『台灣風景印—台湾・駅スタンプと風景印の旅』(2008年12月, 『歴史地理学』505(5), pp. 52-54.)

中西僚太郎・関戸明子編:『近代日本の視覚的経験—絵地図と古写真の世界』(2009年2月, 『地図中心』437, p.45.)

【社会活動】

歴史地理学会常任委員

日本地理学会総務専門委員

秩父サイクルトレイン実行委員

福生市文化財調査委員指導員

【その他】

「日常風景の中の近代化遺産」(2008年5月, 『地理』634, pp. 92-95.)

「旧植民地における近代化遺産」(2008年12月, 『地理』641, pp. 88-98.)

豊岡プチ大学(駿大ふれあいハウス)「神の眼・人の眼～入間市の景観と風景」(2008年10月22日・10月29日)

天野宏司研究室編・秩父サイクルトレイン実行委員会刊『「秩父サイクルトレイン」アンケート結果 報告書』, (2008年4月, 28p.)

天野宏司研究室編・秩父サイクルトレイン実行委員会刊『「第二回 秩父サイクルトレイン」アンケート結果 報告書』(2008年6月, 20p.)

天野宏司研究室編「2008スポニチ佐渡ロングライド210」アンケート調査報告」(2008年7月)

天野宏司研究室編・秩父サイクルトレイン実行委員会刊『「第三回 秩父サイクルトレイン」アンケート結果 報告書』(2009年1月, 20p.)

【現在の研究テーマ】

人文地理学・観光地理学

天野 武男

【口頭発表】

「教会事例研究：所沢キリスト教会」(2008年7月18日, 東京バプテスト神学校)

「キューブラー・ロスの死生観」(2008年8月6日, 東京バプテスト神学校)

「ギリシャ語におけるマタイの統語論的問題点について」(2008年9月2日, 東京バプテスト神学校)

【その他】

日本英語検定試験準1級, 2級, 準2級面接委員(2008年2月, 7月, 11月, 日本英語検定協会)

教会説教：「私の罪とよみがえり：1コリント15：1-11」(2008年5月16日, 東京バプテスト神学校)

教会説教：「信じない私たちとイエスの復活：マルコ16：1-18」(2008年6月20日, 東京バプテスト神学校)

教会説教：「命をすくうために：創世記45：1-15」(2008年9月28日, 所沢キリスト教会)

教会説教通訳：「The Gift of Good News：ルカ2：1-20」(2008年12月21日, 関東プレインズバプテスト教会)

教会説教通訳：「Enriched by God：1コリント1：4-9」(2009年1月11日, 関東プレインズバプテスト教会)

教会説教通訳：「Babes in Christ：1コリント3：1-9」(2009年2月15日, 関東プレインズバプテスト教会)

教会説教：「Best Friend：ヨハネ15：12-15」（2009年2月27日，日本バプテスト連盟，宣教研究所チャペル）

【現在の研究テーマ】

新約聖書におけるパウロ書簡

市川 紀子

【学術論文】

「現代会計学の理論的考察」（2008年9月，『経済研究所所報』第11号，経済研究所指定研究報告，pp. 93-107）

孔炳龍・市川紀子（共）「会計情報の有用性と会計情報の公開開示の必要性—会計倫理からのアプローチ—」（2009年1月，『駿河台大学論叢』第37号，教養文化研究所共同研究報告，pp. 63-79）

「資産負債中心観と収益費用中心観 —井上教授の学説を手がかりに—」（2009年3月，『駿河台経済論集』第18巻第2号，pp. 1-29）

【口頭発表】

孔炳龍・市川紀子（共）「会計情報の有用性と会計情報の公開開示の必要性—会計倫理からのアプローチ—」（2008年8月7日，経営行動研究学会第18回全国大会，於中央学院大学）

「資産負債中心観と収益費用中心観 —井上教授の学説を手がかりに—」（2008年12月20日，飯野利夫先生ゼミナール，於中央大学）

「簿記検定制度以前の簿記教育（経過報告）」（2009年2月22日，日本簿記学会簿記教育研究部会第4回研究会，於全国経理教育協会会館）

【その他】

「米国における財務会計の現代的特質(1)—FASB『討議資料』および概念的フレームワークにおける中心観を基軸として」（2008年5月，『企業会計』，Vol. 60 No. 5，サロン・ド・クリティーク，pp. 92-93）

「米国における財務会計の現代的特質(2)—FASB『討議資料』および概念的フレームワークにおける中心観を基軸として」（2008年6月，『企業会計』，Vol. 60 No. 6，サロン・ド・クリティーク，pp. 108-109）

「社債」（2009年1月，『税経セミナー臨時増刊号』Vol. 54 No. 2，pp. 111-120）

【現在の研究テーマ】

米国における財務会計の現代的特質 —FASB『討議資料』および概念的フレーム

ワークにおける中心観を基軸として—

財務会計論の理論基盤の研究

伊藤 雅道

【口頭発表】

小松崎将一・西澤智康・惟村奈未・太田寛行・金子信博・甘楽法・伊藤雅道「不耕起栽培におけるカバークロップ利用とミミズ導入の効果」(2008年5月, 日本土壤動物学会第31回大会, 於琉球大学)

伊藤雅道・長谷川元洋・杉浦真治「小笠原諸島のミミズ相についての新知見」(2008年5月, 日本土壤動物学会第31回大会, 於琉球大学)

八巻明香・伊藤雅道・菊池知彦「西表島のワラジムシ亜目相の新知見」(2008年5月, 日本土壤動物学会第31回大会, 於琉球大学)

【社会活動】

「ミミズと土と環境」(2008年7月, 出張授業, 於鳥取県立鳥取東高等学校)

第2回ミミズ標本同定会(2008年11月, 主催および実習指導, 於横浜国立大学)

「東北地方の自然史研究—斎藤報恩会の足跡とコレクション」(2009年1月, 展示協力, 於国立科学博物館)

テレビ出演(2009年2月, 解説, TBSテレビ『どうぶつ奇想天外!』)

【その他】

伊藤雅道「第9回ミミズ公開実習(ミミズサマースクール ESS2007)実施報告」(2008年10月, 『ミミズ情報通信』, 第34号, 2-5頁)

【現在の研究テーマ】

大型陸生ミミズ類の自然史研究, 里山生態系の生物多様性および自然再生

井上 勝也

【著書】

「カウンセリング心理学と関連分野の比較; 老年心理学との異同」分担執筆, (國分康孝監修)『カウンセリング心理学事典』(誠信書房)

「老年精神医学」分担執筆, (松原達哉ら編)『産業カウンセリング辞典』(金子書房)

【社会活動】

栃木県シルバー大学校講演(4回)

埼玉県社会福祉協議会講演（2回）

東京都特別区職員研修（2回）

神奈川県立保健福祉大学講義

埼玉県民活動センター講演（2回）

朝日カルチャーセンター，コーディネーター（3回）

【その他】

群馬県立県民健康科学大学の入試問題に、『老年期と生きがい』（『生きがい研究，Vol. 13，長寿社会開発センター』）が採用される

【現在の研究テーマ】

高齢者の認知症への心理学的アプローチ

高齢者の生きがいの心理学的研究

井上 久士

【著書】

『現代中国の歴史——兩岸三地100年のあゆみ』（共著）（2008年6月，東京大学出版会）担当部分は第2章。

『2006-2007平頂山惨案研究』（共著）（2008年9月，東北大学出版社）。

『戦時中国各地区（中日戦争国際共同研究之一）』（共著）（2009年1月，社会科学文献出版社）担当部分は「華北地区八路軍の捕虜政策和日本人的反戦活動」273-289頁。

【学術論文】

「日本と中国——その過去・現在・未来——」（2008年4月，『比較法文化』第16号，65-81頁）

【書評】

「アイリス・チャン『ザ・レイブ・オブ・南京』」（2008年4月，『論座』316-317頁）

【口頭発表】

「日本の歴史認識と東京裁判」（2008年12月，東京裁判60周年シンポジウム，於南京）

「日本軍による海南島占領と支配，およびその後」（2009年1月，海南島陥落70周年ならびに戦後遺留問題中日学術シンポジウム，於海口）

【社会活動】

「日中関係と海南島慰安婦問題」（2008年6月，中国・海南大学で講演）

「歴史認識と日中関係の課題」(2009年3月, 中国・聊城大学で講演)

【その他】

「『愛人主義』の勝利——あとがきにかえて」(平頂山事件訴訟弁護団著『平頂山事件とは何だったのか』所収, 2008年8月, 高文研)

【現在の研究テーマ】

中国近現代史, 日中関係史

海老澤 豊

【著書】

『農耕詩の諸変奏』(共著)(2008年5月, 英宝社)担当部分は「十八世紀英国の農耕詩における天災」pp. 101-132

【学術論文】

「英国十八世紀初頭におけるピンダリック・オード」(2009年1月, 『駿河台大学論叢』第37号, pp. 81-103)

「ドライデンのピンダリック・オード」(2009年1月, 『新潟産業大学人文学部紀要』第20号, pp. 1-22)

【口頭発表】

「十八世紀英国における農耕詩」(2008年11月, 駿河台大学教養文化研究所例会)

「ミルトン, ウォートン, ソネットの復興」(2008年12月, イギリス・ロマン派学会四季談話会, 於大妻女子大学)

【現在の研究テーマ】

十八世紀英詩

太田 隆士

【学術論文】

『グリム童話』にみる個性化 —「白雪姫」と「ふたりの旅人」—

Individuation im Grimmischen Märchen —“Sneewittchen” und “Die beiden Wanderer”—

(「駿河台大学論叢」第37号, 2009年1月, 11頁~37頁)

【社会活動】

駿河台大学春の公開講座「オペラ鑑賞ことはじめ」

第1, 2回 「ヴェルディの『椿姫』について」(4月26日)

第3, 4回 「モーツァルトの『フィガロの結婚』について」(5月10日)
駿河台大学秋の公開講座「市民の大学Ⅲ—心の動きと体の動き」

第3回 「『グリム童話』に描かれた心の動き」(9月27日)

【現在の研究テーマ】

昔話と深層心理学

大貫 秀明

【学術論文】

地域高齢者を対象とした介護予防運動処方の開発(Ⅱ)

—高齢者の介護予防運動参加動機と活動性の関係—

◎狐塚賢一郎 大貫秀明 久我晃広 鈴木徳一

駿河台大学論叢 第37号 pp.153-166 2009.1

【その他】

2008(平成20)年度 日本学術会議活動報告 舞踊学 第31号 p.141 2008.12

舞踏公演制作 作・演舞：和栗由紀夫(舞踏家・好善社主宰) *Transformation*

於：「スポーツ哲学研究セミナー2008 東京」

国立オリンピック記念青少年総合センター 2008.9.1

【社会活動】

日本学術会議 健康・生活科学委員会

健康・スポーツ科学分科会関連協力学術研究団体連絡担当委員

大学基準協会 大学評価委員会 全学評価分科会第9群委員

舞踊学会常務理事・事務局長

第36回International Association for the Philosophy of Sport, Tokyo (2008.8東京)

組織委員会委員及び実行委員

スポーツ哲学研究セミナー2008 実行委員会委員

日本体育学会 投稿研究論文査読委員

駿河台大学公開講座「はじめてのヨーガ, はじめてのパレエ セカンドステージ」
講師 2008.6(毎週土曜日×4回)

平成20年度「文化芸術による創造のまち」支援事業〈文化庁〉

「大学と地域との交流・連携の促進」部門採択による公開講座

プログラム名：大学でパレエ：確かなpasから美しいpasへ 講師

主催：《キャンパスで学ぶ》実行委員会

後援：入間市教育委員会生涯学習課

駿河台大学 2008. 7. 19

駿河台大学 2008秋の公開講座 市民の大学Ⅲ 「体の動きと心の動き」講師

演題：ステップに秘める想い ―時代を映すからだをめぐって― 2008. 9. 20

舞踊学会 第60回学会大会 一般研究発表座長 於：お茶の水女子大学 2008.
12. 6

舞踊学会 第12回定例研究会座長（於：日本大学芸術学部）

朝日舞台芸術賞（主催：朝日新聞社）推薦委員

埼玉県高等学校ダンスコンクール審査委員

【現在の研究テーマ】

- ① 運動(動き)と空間認識
- ② 介護の時代に生きる動きの知とは
- ③ ダンスセラピーにみるルドルフ・ラバンの諸概念

岡田安芸子（藤村安芸子）

【著書】

『岩波講座哲学6 モラル／行為の哲学』（共著）（2008年11月，岩波書店）。担当部分はⅠ4「自然形而上学と倫理―日本倫理思想の原型」。

『死生学2 死と他界が照らす生』（共著）（2008年12月，東京大学出版会）。担当部分は2章「日本古代の他界観」。

【社会活動】

「鉄道と他界～宮沢賢治を手がかりとして～」（2008年7月，豊岡プチ大学，於入間ふれあいハウス）

【現在の研究テーマ】

仏教を中心とした日本倫理思想史

纓坂 英子

【学術論文】

「韓国の日本語学習状況の変化と大学生の日本語学習 ―日本語学習動機と日本人・日本人イメージの検討―」（共著）（2008年5月，『日本学報』第75輯 pp. 299-309.）

「日本人大学生の外国語学習動機とイメージ ―中国語学習者と韓国語学習者の

比較一」(共著) (2008年5月,『比較生活文化研究』第14号別冊 pp. 17-28.)

「韓流と韓国・韓国人イメージ」(2008年7月,『駿河台大学論叢』第36号 pp. 29-47.)

“Similarities in Form Symbolism among Various Languages and Geographical Regions. (Oyama, T. et al.) (November 2008, “Psychologia vol 51: Kyoto, pp. 170-184).

【口頭発表】

“Messages from sister-men to young Japanese women: An analysis of Japanese T.V. shows featuring Onee-mans.” (October 2008, Nine international Women in Asia Conference, the University of Queensland, Australia.)

【社会活動】

“An examination of Japanese students' motivations to learning the Chinese and Korean languages and students' images of these countries and their people.” (May 2008, Japanese Studies Centre Seminar, Monash University, Australia.)

“Gender, Culture and Media in Japan; an aspect of Japanese T.V. shows” (March 18, Guest lecture of Japan in 21 century. The University of Tasmania, Australia)

【その他】

海外女性通信「ここは大洋州自治区か？ オーストラリア発」(2009年1月,『婦人公論』1月22日号 pp. 105.)

【現在の研究テーマ】

外国語習得動機, ジェンダーとメディア, 社会的行動規範

小俣 謙二

【学術論文】

「中学・高校時代の犯罪被害およびそれとライフスタイルとの関係—大学生を対象とした調査による予備的分析—」(仲田洋子と共著) (2008,『駿河台大学論叢』, No37, 105-123)

「中学・高校時代の犯罪被害とライフスタイル—女子大学生の調査から—」(『犯罪心理学研究』, No 46 (特別号), 154-155)

【口頭発表】

「性犯罪被害者に対する第三者の態度に関与する心理要因」(2008年9月, 日本心理学会第72回大会, 於北海道大学)

「中学・高校時代の犯罪被害とライフスタイル—女子大学生の調査から—」(2008

年10月, 日本犯罪心理学会第46回大会, 於国立オリンピック記念青少年総合センター)

【社会活動】

科学技術振興機構 (JST), 社会技術研究開発センター (RISTEX) 委託研究「子どもの被害の測定と防犯活動の実証的基盤の確立」(代表, 原田豊) における「一児童の日常生活との関連, 防犯に関係する地域・個人要因の分析と防犯対策の立案」を担当(行動科学グループリーダー)

【現在の研究テーマ】

犯罪問題に対する社会心理学的研究

木塚 隆志

【現在の研究テーマ】

終末思想及び神秘思想の歴史

清海 節子

【学術論文】

“A study on advertising headlines: a comparison between Japanese and English headlines in commercial advertisements” (co-authored with Yumi Matsumoto). *Tsuda Journal of Language and Culture* 23: 62-72.

【口頭発表】

「中英語否定辞 ne の消失について」(伊藤礼子と共同発表)

(2008年12月23日, 津田塾大学言語文化研究所: 英語の共時的及び通時的研究会)

【現在の研究テーマ】

意味論, 語彙論

久我 晃広

【社会活動】

講習会 「個人技能」 平成20年度財団法人日本体育協会公認コーチ養成講習会
ホッケー競技 2008. 7. 20.

講習会 「個人技能の指導」 平成20年度財団法人日本体育協会公認コーチ養成講習会
ホッケー競技 2008. 7. 20.

講習会 「ゲーム分析」 平成20年度鳥取県ホッケー協会ジュニア指導者講習会
(ホッケー) 2009. 2. 21.

【その他】

女子ホッケージュニアアジアカップ 第4位 女子ホッケージュニア日本代表
チームコーチ マレーシア・スレンバン 2008. 12. 14-22.

【現在の研究テーマ】

ホッケー競技におけるゲーム分析

黒田 基樹

【著書】

『戦国の房総と北条氏』（岩田書院，総頁231，2008年）

『戦国期領域権力と地域社会』（岩田書院，総頁357，2009年）

【学術論文】

「武田氏家中論」（平山優・丸島和洋編『戦国大名武田氏の権力と支配』，岩田書院，155～198頁，2008年）

「年期延と徳政」（広瀬良弘編『禅と地域社会』，吉川弘文館，333～352頁，2009年）

「在地徳政における諸慣行」（『駿河台法学』42号，1～24頁，2009年）

【現在の研究テーマ】

日本中近世移行期社会論

日本中世・近世における売買・貸借関係の研究

孔 炳龍

【学術論文】

「リース会計についての一考察—効率市場仮説からのアプローチ—」『論叢』（駿河台大学）第36号，2008年，pp. 81-97。

「リース資産と減損会計に関する一考察」『駿河台経済論集』第18巻第1号，2008年，pp. 25-41。

「現代会計学の理論的考察と新会計基準の地元地域企業への影響について（上）」

『経済研究所所報』（駿河台大学経済研究所）第11号，2008年，pp. 71-91。

「価値会計としての時価会計—事象理論からのアプローチ—」『経理研究』（中央大学）第52号，WINTER，2009年，pp. 206-216。

「公正価値会計としての時価会計—資産負債アプローチ—」『駿河台経済論集』第18巻第2号，2009年，pp. 31-47。

孔 炳龍・市川紀子（共）「会計情報の有用性と会計情報の公開開示の必要性—

会計倫理からのアプローチ」『論叢』（駿河台大学）第37号，2009年，pp. 63-79。

【口頭発表】

市川紀子・孔 炳龍（共）「会計情報の有用性と会計情報の公開開示の必要性—会計倫理からのアプローチ」（2008年8月，経営行動研究学会全国大会，於中央学院大学）

【現在の研究テーマ】

- ① 減損会計 ② リース会計 ③ 時価会計
- ④ 包括利益の有用性 ⑤ 非財務情報の有用性

國分 俊宏

【書評】

ブリジット・ラベ，ミシェル・ピュエシュ著『哲学のおやつ』全3巻（西川葉澄訳，汐文社）書評（『ふらんす』白水社，2008年5月号〔第83巻第5号〕，p. 75）

ロラン・ゴード著『スコルタの太陽』（新島進訳，早川書房）書評（『ふらんす』白水社，2008年10月号〔第83巻第10号〕，p. 84）

【社会活動】

公開対談「作家ナンシー・ヒューストンを囲んで」（東京日仏学院，2008年10月23日，ナンシー・ヒューストン氏および堀茂樹・慶応義塾大学教授とともに）

【その他】

「ブリタニカ国際年鑑2008年版 文学—フランス文学の項」（『ブリタニカ国際年鑑2008年版』ブリタニカ・ジャパン，2008年4月，p. 383-384）

「シュルレアリスム美術をめぐる複数の声——問いかけと応答」（『水声通信』No. 25，2008年7・8月合併号，p. 113-114）

「美しく哀しい多^{ポリフォニー}声音楽——ナンシー・ヒューストンの小説世界」（『ふらんす』2008年9月号〔第83巻第9号〕，p. 43-44）

【現在の研究テーマ】

フランス文学，翻訳論

狐塚 賢一郎

【研究ノート】

「地域高齢者を対象とした介護予防運動処方の開発Ⅱ—高齢者の介護予防運動参加動機と活動性の関係—」（共著）（2009年1月，『駿河台大学論叢』第37号，pp

153-166)

【口頭発表】

「高齢者の介護予防運動参加動機と活動性の関係」(2008年9月, 日本体育学会第59回大会, 於早稲田大学)

【社会活動】

「初心者テニス講座」(2008年9～10月4回, 駿河台大学秋の公開講座, 於駿河台大学)

「コーディネーショントレーニングで介護予防～いくつになっても運動神経は良くなる!～」(2008年11月29日, 平成20年度彩・ふるさと喜樂学, 於駿河台大学)

関東ラグビーフットボール協会レフリー委員会委員

飯能市健康・体力づくり市民会議委員

【現在の研究テーマ】

コーディネーショントレーニングによる介護予防運動

コーディネーショントレーニングによるラグビーの競技力向上

Renée Sawazaki

【著書】

『Power On English Writing』(高校英語検定教科書), 東京書籍, 編集代表者 清水公男 (編集者 澤崎レンネアリスほか5名), 2. 10. 2009

『Power On English Writing Teacher's Manual解説編』, 東京書籍, 編集者代表 清水公男 (編著者 澤崎レンネアリスほか5名), 2. 10. 2009

【口頭発表】

“Visible and Hidden Culture: A Model for Teaching Intercultural Understanding”, 日本国際教育学会, 共愛学園前橋国際大学, 5. 24. 2008 (2008年度春季研究大会プログラム, pp. 18-19)

【社会活動】

文科省指定SELHi (群馬県立中央中等教育学校) 運営指導委員

多言語教育研究所 (NPO群馬県) 理事

Rainbow Families (バイリンガル教育会) 会長

Felice International School, 英語教育アドバイザー

“Reading With Your Child”, 多言語教育研究所, 群馬県玉村町, 7. 5. 2008

“Family-School Partnership for Bilingual Education”, Felice International School,

群馬県伊勢崎市, 2. 21. 2009, 2. 28. 2009 (群馬テレビ, ニュース放送, 2. 28. 2009, 「バイリンガル教育テーマ講演会開くフェリーチェ幼稚園」桐生タイムス, 2. 27. 2009, 「バイリンガル教育の成果を訴えた講演会」太田タイムス, 3. 7. 2009)

【現在の研究テーマ】

英語教育：外国語教育法と教材開発, 異文化理解とコミュニケーション, バイリンガル教育

竹中 弥生

【社会活動】

「楽しく学ぶ英会話」(2008年6月21日) 駿河台大学公開講座

「楽しく学ぶ英会話」(2008年6月28日) 駿河台大学公開講座

模擬授業, 「豊かな言葉, 英語の歴史」(2008年6月26日) 前橋育英高校

模擬授業 「ヨーロッパの文学に描かれる愛の姿」(2008年8月4日) 駿河台大学, サマースクール

模擬授業 「ヨーロッパの文学に描かれる愛の姿」(2009年3月19日) 東京都立淵江高校

【現在の研究テーマ】

ロンドンに於けるオスカー・ワイルド：作品と街, 人物との関係

16世紀以後のキリシタン文化と日・欧交流の比較文化的研究

幕末から明治初期の日・欧交流の比較文化的研究

角田 京子

【現在の研究テーマ】

統合失調症の両価性から観た主体の倫理的価値の成立

統合失調症のアウェイクニング現象

絵画の表現病理

長尾 建

【社会的活動】

宮沢賢治学会主催「高村光太郎展—賢治研究の先駆者たち4」企画委員

【その他】

宮沢賢治学会主催「高村光太郎展—賢治研究の先駆者たち4」臨地解説
(2009.1.24, 於宮沢賢治イーハトーブ館)

【現在の研究テーマ】

日本近現代文学におけるコスモポリタニズムとナショナリズムの研究
詩と言語実験—日仏近現代詩の比較研究

朴 昌明

【学術論文】

「開城工業地区における労務管理」(2008年6月、『ERINA REPORT』第82号,
pp. 74-81.

【翻訳】

禹哲熏, 朴権一『八八万ウォン世代』(金友子・金聖一・朴昌明訳, 2009年2月,
明石書店)。担当部分は推薦の辞, 序文, 第I部第2章, 終章。

林 好雄

【翻訳】

ジャン=リュック・ナンシー, フェデリコ・フェラーリ『作者の図像学』(2008年
11月, ちくま学芸文庫, 筑摩書房)

【現在の研究テーマ】

一九世紀フランス文学, 道元とフランス現代思想

原 聰

【口頭発表】

裁判員裁判における心理学的問題 日弁連目撃証言シンポジウム「これからの
刑事裁判と供述の信用性—裁判員裁判の中の供述証拠を中心に」における話題提供
者

【その他】

「法と心理学」は癒し科目? 『法と心理』第7巻1号 ワークショップ「法科大学
院における心理学教育」報告

【現在の研究テーマ】

目撃証言と自白の心理学

裁判員裁判における心理学的問題

土方 幹夫

【現在の研究テーマ】

野外活動における自然の認識過程

水辺活動のユニバーサルデザイン

【論文】

教材としてのカヌープログラムⅢ

～車椅子カヌー（Wheelchair-canoe）試作艇の改良からカヌー体験活動の効果測定～

駿河台経済論集 第18巻第2号, 2009.3 87～105 単著

【報告書・研究ノート・その他】

海の駅街づくり指導マニュアル 海の駅推進協議会 2009年3月 共著

【学会報告・その他】

ユニバーサルデザインによる車椅子カヌーの公開展示

横浜開港150周年記念 国際ボートショウ パシフィコ横浜

2009年3月11日～15日

廣野 行雄

【学術論文】

「誰が賈探春の母か—『紅樓夢』読解の一前提—」（2009年1月、『駿河台大学論叢』第37号, pp. 39-62）

【現在の研究テーマ】

『紅樓夢』読解

M.A. Foulds

【現在の研究テーマ】

1764頃に江戸から離れて、25年余りの間、越後地方で活躍した徳川幕府の表絵師の狩野梅笑。特に長岡藩の牧野家、新発田藩の溝口家に依頼されて、寺院や豪農等で絵を教える等して幅広く美術の世界に影響を与えた彼の画家としての役割、技能、画風などを深く理解する。

30年間、関東地方、関西地方で活躍した丹後田辺藩の御用絵師鈴木南嶺について。

特に、文化文政時代の絵画史に与えた影響とその意義。

福田 二郎

【社会活動】

豊岡プチ大学講演 『アルプスの少女ハイジ』の世界（2008年6月20日，27日）

【現在の研究テーマ】

ヨーロッパ思想史，英国小説・詩

福永 昭

【社会活動】

豊岡プチ大学講演（2008年6月13日）

【その他】

Journal of Travel & Tourism Marketing（2008年10月）掲載論文査読

【現在の研究テーマ】

観光ホスピタリティ研究および旅行管理者試験対策

星川 熙

【社会活動】

就労支援のための中級PC講座 講師 2008年9月2日

【現在の研究テーマ】

物理基礎論，エネルギー資源論

本間 邦雄

【著書】

『リオタール哲学の地平——リビドー的身体から情動-文へ』（単著）（2009年2月，書肆心水）（2008年度・駿河台大学出版助成による刊行）

【社会活動】

日仏会館図書室友の会公開講演会（第40回）「J-F・リオタール，思考の現場とその地平」

（2009年3月14日 於日仏会館，共催：日仏会館研究センター・日仏図書館情報学会）

【現在の研究テーマ】

現代文明とフランス思想（ジャン=フランソワ・リオタールの思想とその展開）

前山 加奈子

【現在の研究テーマ】

中国の民国期における女性雑誌からみる文化思想状況

増田 久美子

【翻訳】

エイミー・カプラン『帝国というアナキー——アメリカ文化の起源』（共訳）（2009年2月，青土社），担当部分：序章，第1章，第2章，第3章，第5章

【社会活動】

「アメリカ合衆国の自然保護運動」（2008年10月，駿河台大学公開講座「彩・ふるさと喜樂学」）

【現在の研究テーマ】

19世紀アメリカ文学におけるドメスティシティ研究，女性による日記・書簡文学と公的領域の形成をめぐる研究

増田 珠子

【著書】

現代演劇研究会編『現代演劇』第18号（共著）（2008年11月，英潮社フェニックス）。担当部分は「ノエル・カワード作品解説」の「今夜八時半開演」（pp.74-80）。

【現在の研究テーマ】

イギリス演劇，現代演劇，児童文学，児童演劇

松井 優子

【著書】

『ロバート・バーンズ——スコットランドの国民詩人』（共著）（2008年12月，晶文社）。担当部分は，「VI詩人への照射 9バーンズ以後の文学——『ロバート・バーンズ』という不安」（pp.457-474）。

【現在の研究テーマ】

越境する「ケルト」の想像力と文化的アイデンティティの生成・変容をめぐる研

究；女性による日記・書簡文学と公的領域の形成をめぐる研究。

Paul McCarthy

【翻訳】

〈The Chinese Stories of Nakajima Atsushi〉, accepted for publication by Autumn Hills Press, Iowa, USA (2010)

〈Word Book: a Collection of Stories by Kanai Mieko〉, accepted for publication by Dalkey Archives, Illinois, USA (2009)

【口頭発表】

“The Historical Fiction of Nakajima Atsushi,” European Association for Japanese Studies Triennial Congress, Lecce, Italy, September 2008

“彷徨える翻訳家：中島敦の文学の読みと翻訳”, private lecture for Kōjunsha Association, Tokyo, November 2008

“中島敦の歴史小説の世界を旅して”, public lecture for NPO Association for the Publication and Promotion of Japanese Literature, Tokyo, December 2008

“中島敦の文学における老子莊子の思想”, public lecture for 東洋思想と心理療法研究会, 駒沢大学会館, Tokyo, March 2009

【社会活動】

Member of Vestry of St. Alban's Anglican/Episcopal Church, Shiba Kōen, Tokyo, 2009

【現在の研究テーマ】

Translation of 〈101 Modern Japanese Poems〉 edited by Ōoka Makoto, for jlpp

Translation of Volume 1 of 〈Saka no ue no kumo〉 by Shiba Ryōtarō, for Japan Documents

油井 恵

【学術論文】

「日本語における人名とアイデンティティとの関係性：インターネットにおける質問紙調査の結果から」『社会言語科学会第23回大会発表論文集』（2009）pp. 270-273.

【口頭発表】

“The Functions of Address Terms in English and Japanese: Analysis Using Scenari-

os”(2009年3月, International Association of Performing Language Conference 2009
於University of Victoria)

「日本語における人名とアイデンティティとの関係性：インターネットにおける
質問紙調査の結果から」(2009年3月, 第23回社会言語科学会研究大会 於東京外
国語大学)

【現在の研究テーマ】

カテゴリー認知と英語と日本語におけるその言語表現

山本 耕一

【現在の研究テーマ】

応用倫理学・ジジェクの思想

吉田 邦久

【著書】

『好きになる生物学』(講談社)の韓国語訳が出版された。

【社会活動】

- ・平成20年度公開講座 彩・ふるさと喜楽学(5月31日)
「地域と共生する大学へ ～駿河台大学の地域連携～」
- ・入間市立武蔵中学校PTA講演会 「環境問題と私たちの生活」(10月17日)
- ・第4回全国ヤーコンサミット
基調講演「入間川文化とヤーコンの出会い」(10月25日)
- ・入間市環境審議委員, 入間市環境アドバイザー, 入間市立豊岡小学校評議員

【現在の研究テーマ】

市民が必要とする生物学的教養とは何か?

吉野 貴順

【翻訳】

International Floorball Federation「Rules of the Game Edition 2006」の翻訳
(2008年6月, 日本フロアボール協会発行『国際フロアボール連盟競技規則 フ
ロアボール競技のルールとその解釈』)

【社会活動】

日本フロアボール協会事務局長, 選手強化委員長, アンチドーピング委員長

アジア／太平洋フロアボール連合理事

- ◆2008年11月 「2008世界学生フロアボール選手権大会」日本選手団 団長
男子日本代表チーム監督（5位）、女子日本代表チーム監督（4位）
- ◆2008年12月 「2008男子世界フロアボール選手権大会（16位）」日本代表チーム、
監督
- ◆2009年3月 「2009年アジア／太平洋フロアボール選手権大会」男子および女子
日本代表チーム監督（男女優勝）

【現在の研究テーマ】

- ◆ショートトラック・スピードスケート競技選手の国際的競技力向上に関する実践的研究（特にジュニア期に必要な教育・指導プログラムについて）
- ◆ショートトラック・スピードスケート競技選手の体力と競技力との関係
- ◆フロアボール競技選手の国際的競技力向上に関する実践的研究

吉野 瑞恵

【著書】

『土佐日記 蜻蛉日記 とはすがたり（日本の古典を読む7）』（2008年11月、小学館、「はじめに」「あらすじ」「解説」を執筆）。

【社会活動】

豊岡ブチ大学講座「源氏物語の親子関係―光源氏はどのような育ち方をしたのか―」（2008年10月8日、10月15日、於入間市ふれあいハウス）。

【その他】

『王朝文化辞典―万葉から江戸まで―』（朝倉書店、2008年11月、「葵」「逢坂」「伊勢」「斎院」「斎宮」など23項目執筆）。

【現在の研究テーマ】

女性の日記・書簡・自伝文学の比較文学的研究。

『とはすがたり』の文学史的位置づけと注釈。

渡辺 裕子

【学術論文】

「社会福祉における介護時間の研究へのタイムスタディ調査の応用」(2008年10月、東北大学大学院文学研究科 博士学位論文)

【現在の研究テーマ】

社会福祉におけるタイムスタディ調査の応用

地方自治体における地域福祉計画に関する研究